

JAだより

7

2019

July

第133号



特集

第12回 通常総代会

表紙の写真

ナス畑
(河合町)

日本で1,000年以上前から栽培されているというナス。日本だけでも180品種あり、馴染み深い代表的な夏野菜の一つ。

↓ check it! ↓



SNSはじめました (@ja.hakusan)



第12回 通常総代会



6月22日、白山市鶴来総合文化会館「クレイン」で第12回通常総代会が開催されました。総代523名のうち、484名（書面出席を含む）が出席。来賓には西沢耕一石川県農業協同組合中央会会長、山田憲昭白山市長、横山隆也、車幸弘両県議会議員にご臨席いただきました。

開会にあたり竹内文雄代表理事組合長は平成30年度事業について、農業・農協を取り巻く情勢が一段と厳しさを増す中、農業者の所得増大に向けて水稻プラス園芸の複合経営化の継続推進と、新たに今年秋から米・麦・大豆の2年3作の取り組みを実施すること及び、農業生産コストの削減や直売所の生産者出荷高の増大などJA自己改革の取組の進捗について報告されました。令和元年度事業については「第五次中期3カ年計画の策定に基づき「農業者の所得増大と農業生産の拡大」「組織基盤の強化と地域の活性化」「広域合併

実現に向けての協議」を基軸にし、協同活動の強化と事業機能の充実に向け、積極的な取り組みを展開してまいります。」と挨拶しました。

議事進行にあたっては、議長に木滑巨総代（大神支店）と上田正敏総代（手取支店尾口地区）を選任。平成30年度事業報告および剰余金処分案承認、第五次中期3カ年計画の策定、令和元年度事業計画の策定等、全6議案の審議が全て可決承認されました。

30年度決算の内容は事業総利益12億7068万円、経常利益2億8455万円、当期末処分剰余金3億4093万円でありました。



平成30年度 農業功労賞 表彰

農事組合法人 知気寺宮農ワークス
代表理事 織田 章

農事組合法人 ファーム鳥越
代表理事 田原広意知

田村 武茂



総代会および支店別議案説明会における主な意見
質問をご紹介します（一部抜粋）

Q1（質問） 次期3カ年計画において、経常利益が減少し経費が増加しているのはなぜか。

A1 国の金融政策の影響により今後も信用事業収益が減少するやむを得ない実態です。一方、地域農業を維持拡大するため、引き続き営農施設等への投資により償却費の増大と働き方改革による人件費の増大を計画しているものです。

Q2（質問） 自動車事業の赤字原因は何か説明を求める。

A2 JAが自動車事業を始めた当時は営農が盛んな頃であり、組合員の営農トラックなどを含め販売・車検が現在より取扱実績は多かった。現状の経営問題は、近年、農業者の離農が進んだことから、取扱いは年々減少傾向に推移していることと、安全性確保のため車検整備などに適正な職員の確保から管理費などの影響が要因と考えられます。

Q3（意見） 合併は進めるべきだと思うが広域となることで中山間地域が不利にならないよう努めていただきたい。

A3 合併研究会を通じて地域の事情を踏まえた協議を進めて参ります。

Q4（質問） 総代会に欠席する総代が4割程いるが、組合員の代表である総代がその役割を果たしているか疑問を感じる。総代だけではなく全組合員を招集し開催したらどうか。

A4 総代会に出席しない理由として、個人の都合や意識の問題及び高齢化などに伴う出席困難も考え

られます。総代会は定款に定められておりますが、JA白山の規模で全組合員総会は困難です。今後、大規模合併になれば総代の役割はますます重要となると考えられます。

Q5（質問） みのり監査法人は全国に事務所があるのか。また、これまで監査を実施してきた中央会（全国監査機構）との関連は。

A3 みのり監査法人は平成29年6月に設立した組織で、首都圏（東京大阪）を除き全国に事務所があり、石川県では農業会館に事務所があります。なお、中央会（全国監査機構）はこれまでJAの監査を実施してきた経験等を活かすため、みのり監査法人の構成員として監査を実施します。

Q6（質問） 2年3作について、美川地区においてはJA白山の推進どおりに取組みを行ってきたが、他の地区は取組まなかったのか。

A6 蝶屋、井口の両センターは改修時期であることからこの機会に農業所得の増大を図るため2年3作を提案しました。蝶屋地区においてはその方向性に賛成されましたが、つるぎ地区では麦30町歩の面積確保が困難との見通しから、現段階で国の補助金事業によるセンターの大改修は行わない結論になりました。しかし、美川地区以外でも2年3作の取り組みが行われますので、その生産物は蝶屋センターでの処理を予定しています。

総代会、支店別議案説明会にご参加いただき、誠にありがとうございました。

第12年度（平成30年度）剰余金

内、出資配当金および事業分量配当金の割合は以下のとおりです。

● **出資配当金** **23,878,638円**

出資配当は昨年同様 年1.5%の割合となりました。

● **事業分量配当金** **26,997,392円**

①組合員の定期貯金 (定期貯金、積立定期貯金、定期積金)	年間平均残高に対し0.03%
②貸出金（当座貸越、無利息貸出金を除く 平均残高1,000万円超の組合員）	年間平均残高に対し0.03%
③組合員の長期共済保有高	長期共済保有高1万円に対し 0.7円の割合
④組合員のJAへの米出荷量（加工米を除く）	出荷1俵に対し150円の割合
⑤組合員のJAへの種子出荷量（合格品）	出荷1kgに対し2.5円の割合
⑥組合員のよらんかいねえ広場・道の駅 直売者の直売品取扱高	取扱高に対し1.3%の割合



理事会だより

第3回理事会

日時／令和元年6月19日（水）午後1時30分～

審議事項

第1号議案 平成30年度下期監事監査結果・処理
顛末について（可決）

審議し承認されました。

第2号議案 行政庁に提出する第12年度業務報告
書の承認について（可決）

最終審議し承認されました。

第3号議案 蝶屋大豆乾燥調製施設の移転に伴う
機械類の移設工事について（可決）

審議し承認されました。

第4号議案 蝶屋給油所灯油ローリー車両の更新
に係る業者及び車種、金額の決定について（可決）

審議し承認されました。

第5号議案 出資口数の変動について（可決）

報告事項

1 令和元年5月末事業実績について

2 支店別議案説明会における主な意見質問に対
する回答について

3 JAバンク基本方針に基づくJA財務モニ
タリングの結果について

4 その他

JA白山施設内禁煙について
以上4項目について報告しました。

地産地消で地域活性化を目指す

今回はJA白山 ナス部会を紹介します。

ナス部会

現在8軒の農家が加入しているナス部会。比較的作りやすいため、家庭菜園や直売所への少量出荷など栽培されている方も多い。たくさんのお客さまに店頭で手に取ってもらえるよう、見た目はツヤがあり美しく、品質も良く、使いやすい大きさなど、生産者と営農指導員によるこまめな生育状況のチェックやアドバイスを行っています。



6月24日、ナス圃場巡回および出荷会議が行われました。昨年より定植が数日遅れた圃場もありますが、順調に育っており、出荷時期は7月上旬の見通しです。より品質のよいものをお届けしようと、今後の管理について意見が交わされました。

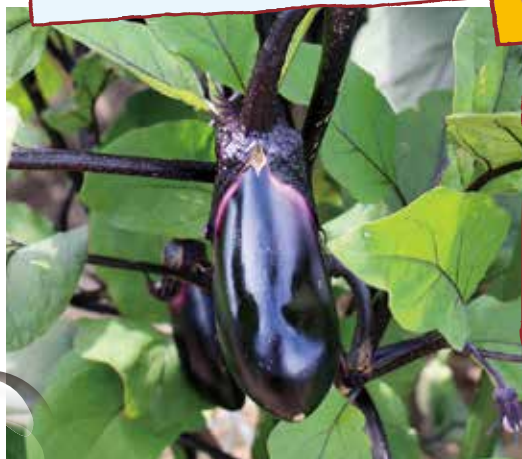
栽培管理について

ナスはそのままでも育ちますが、生産者は枝に誘引ヒモや支柱を施し、自重や実の重さでの垂れ下がりを防ぎます。垂れ下がると葉や実に雨や水やりで泥が跳ね、病気になりやすくなるためです。また、枝を大きく広げること、摘芯や収穫を行いやすくしています。「ナスは水で育つ」といわれるほど水やりが重要で、不足すると生育が悪くなり収量が上がりず、ツヤも無くなるそうです。



保存方法

ナスの原産国はインド。そのため暑さや湿度には強いのですが、寒さや乾燥に弱い傾向があります。購入してから3~4日で食べきることをおすすめしますが保存する場合は、乾燥しないように1本ずつラップで包み冷蔵庫の野菜室へ入れると、1週間~10日程持つそうです。また、冷凍する場合は、調理してから乱切りや輪切りにして冷凍用保存袋に入れ冷凍すると2~3週間程持つそうです。使用する際は凍ったまま加熱調理できます。



煮ても焼いても揚げてもよし。和食にも洋食にも使いやすい旬のナスをたくさん食べて暑い夏を乗り越えましょう！

営農だより



園芸重点品目

ブロッコリー収穫最盛期

6月中旬、アグリサポート白山始め各圃場でブロッコリーの収穫が始まりました。今年は収穫の始まりとピークが一気に訪れ、連日収穫に追われました。

井口野菜集出荷施設では、品質の良いものをお届けするため、一つ一つを吟味しながら選果され、高温多湿で鮮度が落ちないように出荷箱に氷を詰め市場に運んでいます。今年は部会員が1名増え、昨年より多い9.3haの作付けを行いました。

7月には秋ブロッコリーの栽培講習会を行う予定です。講習会や巡回を重ねることで活発な情報交換を行い、さらなる品質向上と収量増加に向けて取り組んでいきます。



よらんかいねえ広場

セルフ精算レジを導入

6月20日、よらんかいねえ広場に「セルフ精算レジ」が2台導入されました。

「セルフ精算レジ」とは、レジ係員が商品のスキャンを行い、現金の精算はおお客様自身が精算機へお金を支払うというものです。現金を精算していただいている間に、レジ係員が次のお客様の対応を行えるため、レジ混雑の解消に繋がっています。レジ横ののぼりが目印です。カード払いは係員が行いますので、お気軽にお申し出ください。

もちろん通常レジもありますので、ご利用ください。



バケツ稲づくりコンテスト

青壮年部が4月に募集していた「バケツ稲づくりコンテスト」参加者へ、5月下旬にバケツ稲が配られました。

配布後は参加者に自宅で管理してもらい、10月上旬に青壮年部盟友が参加者宅を訪ねて収穫し、それぞれの稲穂の総重量で順位を決定します。上位3名は10月下旬に行われる農業まつりで表彰する予定です。

毎年参加されている家族も多く「昨年はあまり収穫できなかったのですが、今年はトップを目指して頑張る」と話す方もおられました。参加して下さった皆様、優勝目指して頑張ってください。





青壮年部

蔵山支部

ひとつちようだい



6月6日、つるぎ保育園園庭のミニ田んぼにて、年長22名の園児が田植えを体験しました。

田んぼは前日みんなで入り、泥をかき混ぜて柔らかくしたそうで、植えやすい状態になっていました。田んぼの真ん中に向かい合わせで2列に並び、一歩ずつ下がりがながらコシヒカリの苗を植えました。一掴み植えることに園児が「ひとつちようだい」とお願いすると、先生や植え方を教えていた青壮年部盟友が「どうぞ」と声をかけて渡す光景があたりこちらで見られました。今後は秋に収穫し試食会を行う予定です。



蔵山支部

大きくなるかな



6月11日、くらやま保育園の年長23名は、トウモロコシの苗約50本を農事組合法人早崎農産の圃場に植えました。

早朝まで雨が降り畝の間に水が溜まり少し歩きにくい中、JA職員や青壮年部盟友と一緒に1人2本ずつ大きく伸びるように真っ直ぐ植えていました。この日は蔵寿会の皆さんとサツマイモの苗の定植を行い「たくさん植えて楽しかった」「ちよっと疲れた」「採るのはいつかな」と体験を楽しんだようでした。

サツマイモの定植は年少、年中の園児も参加し、みんなで農業を体験する日になりました。



林支部

お芋の味は違うのかな



6月13日、あいわ保育園駐車場わきの畑で、年少18名の園児がサツマイモの苗を植えました。青壮年部の高本さんから「苗を折らないように優しく植えて」と教わり畝の前に整列し、JA職員や先生と一緒にマルチに空けられた穴に苗を入れ、土を掛けました。今回は「金時芋」「紅はるか」「安納芋」の3種類を畝ごとに分けて植えました。最後に高本さんが「収穫したらお芋の味が違うか食べ比べよう。大きくなるように大事に育てて」と挨拶しました。

お芋が好きだと言う園児も多く、今から収穫を楽しみにしていました。



地域
活性

女性部

「緑の学園」スタート

6月1日、井口町の圃場にてJA白山女性部主催第1回「緑の学園」を開催しました。「緑の学園」は女性組織が主体で行う活動で、農作業体験や調理実習、現場見学や話し合いなどを通じて「食」と「農」について理解を深めることを目的としています。

今回はトウモロコシの定植前に活動の趣旨を説明、簡単な勉強会も行いました。参加した親子12名が約100本の苗を30分程で植え終わりました。参加者からは「親子で体験できてよかった」「初めてだったので楽しかった」との感想が聞かれ、次回を楽しみにしていると言っていました。

今後は収穫、調理実習、試食会を行う予定です。



石川県家の光大会

6月21日、第2回石川県家の光大会が農業会館6階にて行われました。

この大会では、各JA女性組織の代表者が『家の光』記事活用体験を発表しました。当JAからは女性部長の清水外志恵さんが、料理レシピや野菜の育て方などを参考資料として活用していること、手芸記事を見てよらんかいねえ広場に作品を出展している方の紹介をしました。

大会途中では持ち寄った加工品の即売会も行われ、準備した豆大福やパウンドケーキがすぐに完売。ほかの女性組織の加工品も食比べ、今後の活動のヒントをたくさん得られました。



ふれあい サロン

地域
活性

サロン 元気かい

6月11日、吉岡集会所にてふれあいサロンが開

かれました。

参加した12名は白山市介護予防サポーター2名とともに、「ピンピン体操」やDVDを見ながら「白山市民の歌体操」を行い、軽い汗を流しました。

体操前にはこれからの季節もっとも心配な熱中症は、高齢者の家の中で多く起きていることから「クーラーをつけることを我慢しない。喉が渇く前にちよこちよこ水分を取る。寝ている時も汗をかくので、寝る前に水分を取るか枕元に置いておく」などの対策を聞きました。

枕元に



いち

支店

いち

協同活動

白峰支店



直売所お買物ツアー

6月26日、白峰支店発のバスがよらんかいねえ広場に到着。白峰地区の15名がお買物ツアーで訪れました。

同地区社会福祉協議会との合同企画で、JA理事の小田吉一さんと民生委員3名が参加者の買いい物を補助し、買いい物や店の雰囲気を楽しんでいただきました。参加者からは「品揃えが豊富で楽しい」「JAの直売所なので安心できる」と喜んでもらえ、みなさんたくさんさんの荷物を抱えて帰られました。

山下支店長は「また企画してほしいとお声をいただいた。楽しんでもらえて良かった。今後も月1回程度開催したい」と話しました。



買物を楽しむ参加者



笑顔でバスに乗り込まれました

蝶屋支店



通学合宿で地産地消も学ぶ

5月21日、蝶屋公民館にて蝶屋地区通学合宿が行われ、蝶屋支店からお米20kgを寄贈した。

通学合宿は共同生活を行うことで協力することの大切さなどを学ぶ活動で、蝶屋支店からは毎年地元産の米を提供しています。また、「食」や「農」について興味を持ってもらい、理解を深めるために職員や青壮年部が講義を行っています。

木戸口支店長は「地元のお米をたくさん食べて、元気に過ごしてほしい」と挨拶しました。



お米についての講義を行いました



手渡す木戸口支店長と中島支部長

蝶屋支店



こども食堂にお米寄贈

6月24日、蝶屋支店にて美川こども食堂にお米10kgを寄贈しました。

こども食堂は子どもの孤食や食事の偏りを減らすため、地元団体や生産者から食材提供などを受けボランティアで活動されています。

JA白山は昨年「白山市子ども食堂事業地元応援隊」に登録。今回の食材提供となりました。

地域の子ども達に地元食材をたくさん食べてもらい、地元農業に興味を持つきっかけになってほしいと思います。





2019 JA白山 よい食プロジェクト

このプロジェクトは、心と体を支える食の大切さ、国産・地元産の豊かさ、それを生み出す農業の価値を伝え、国産・地元産と日本の農業のファンになっていただくという運動です。「よい食」とは、おいしい食の事。楽しい食であること。家族の健康を支えるもの。よい暮らしそのものを指します。今回は「トウモロコシの苗定植」をご紹介します。



作業を終えると「疲れたけど楽しかった」「早く収穫したい」「お母さんと見に来る」などの声が聞かれました。収穫体験は8月中旬の予定です。

5月20日、井口町の農事組合法人井口グリーンワークスの圃場にて、今年初めての活動「トウモロコシ苗定植体験」を行いました。明光小学校児童会つるぎ「ピノキオクラブ」約90名の児童が体験しました。

始めに営農指導員がトウモロコシの種類や特徴などを説明。今回は「おひさまコーン」という糖度が高く粒皮がやわらかい品種で、植え方を井口グリーンワークスの北村さんに教わってから始めました。印の付けられた紐を頼りに苗を等間隔に植えますが、穴を掘っているうちにちよつとずれることもありましたが、協力して全ての苗を植え終わりました。

共済こぼれ話 ご存知ですか?…JA共済

これまで共済契約は、一度加入するとほとんどの方がなかなか見直す機会がなく、中には「どんな内容だったか忘れた」「全部保障してもらえと思っていた」など、契約内容がわからなくなる方もいました。

現在JAの渉外担当者は、いざ共済を使う場面で保障漏れに気づくことがないように、毎年ご加入内容の説明にお伺いしています。加入時には納得し、その時一番いいと思って契約していても、年月が経ち改めて見直すと現状にあっていないことも多々あります。

私が以前伺ったお客様も「介護ってお金かかるよね。私の年齢だと介護の保障は入れんよね」など質問を受けました。そこでお客様と一緒に保障内容を確認し、満足していただける内容をご提供できました。

1人1人の生活環境は年月が経てば変化するものです。その時々合った保障で安心を備えましょう。

ただいま「あんしんいっぱいキャンペーン」を実施中です。保障についてのご相談は、お気軽にお近くのJAへお問い合わせください。(複合渉外担当 Fさん)

JA共済

あんしん いっぱい キャンペーン

抽選で **8,400** 名様に **すてきなプレゼント!**

※抽選期間 2019年4月1日～2020年3月31日

プラン	保険料	主な保障内容
A 4,000円/年 (年齢1,000名/年)	JAタウン 販路産地直送品	JAタウン 販路産地直送品
B 400円/年 (年齢100名/年)	PRINCESS Table Grill Pure	PRINCESS Table Grill Pure
C 4,000円/年 (年齢1,000名/年)	アソビマン おかたづけマット	アソビマン おかたづけマット

もっと便利に、もっと安心! JAバンク石川

もっと×2 JAキャンペーン

キャンペーン期間 令和元年 6/17(月)~8/30(金)

期間中に左記の対象取引のうちいずれかを
新たにお申込みされた方

1 年金振込 2 給与振込 3 JAカード 4 個人ネットバンク

県内合計 **10,000名様にプレゼント**

JAバンク石川 上記プレゼント企画の詳細やJAへのご案内はお近くのJA窓口、またはホームページでご確認ください。

JAバンク石川は、県内16JAとJAバンク石川信連の総称です。

JAバンク石川 検索 <http://www.is-ja.jp/jabank/>



快適に、
風を切って走りた方へ...
**新・中古バイク
初展示!!**

JA白山
来場粗品
プレゼント!

※無くなり次第、終了とさせていただきます。

安全・快適な 暮らし応援フェア

7/20(土)21(日)
朝9時~午後4時まで

安全ブレーキ体験会

スバル アイサイト
安全運転支援

スズキ セーフティ
サポート
予防安全技術

最新の安全装置を
体験してください

増税予定前に
ぜひご検討ください!

JAグループ 農機お買得市

中古機・旧型機・試乗機が
一堂に大集合!!

- ◆トラクター ◆田植機
- ◆コンバイン ◆その他農機

場所 令和元年 7月19日(金) 10:00~16:00

【抽選申込締切 11:30】 ※抽選開始時間 11:40予定

場所 JA全農いしかわ 農機施設課 特別会場

ホームページでも御覧いただけます。
<http://www.is.zennoh.or.jp/material/noki/index.html>

JA全農いしかわ 農機施設課 特別会場

JAグループ石川 ※当日、会場お問い合わせ先/JA全農いしかわ農機施設課 TEL.076-240-5356





令和記念! 夏のとくとも JA白山オリジナル 定期貯金



©よりぞう

2ヶ月限定の特別金利

【期間】令和元年7月1日(月)～8月30日(金)

年利

0.10%

税引後年利0.079%

☐ ご契約額：30万円以上新規お取組み

☐ 期 間：3年（1年也可）

（個人・法人問わず）

※利息には20.315%の税金がかかります。

※キャンペーン金利は、当初預入期間のみの適用となります。

自動継続後の適用金利は、自動継続時の店頭表示金利となります。

※万が一、中途解約される場合、当JA所定の中途解約利率を適用いたします。

※市場金利および経済情勢の変化により適用利率を変更させて頂く場合がございます。

※キャンペーン定期は、スーパー定期に限りです。

期間中、以下の取引のいずれかを
新規にお申し込みされた方には

- ① 年金振込
- ② 給与振込
- ③ JAカード
- ④ JAネットバンク

**粗品を
進呈!**

詳しくは、最寄りの店舗窓口へお問い合わせ下さい。

JA白山
〒920-2154 白山市井口町に62番地1

本店金融課 ☎273-3131
つるぎ支店 ☎272-1515
大神支店 ☎272-0620

蝶屋支店 ☎278-2315
手取支店 ☎255-5001
白峰支店 ☎259-2003

私たちの  (令和元年5月末実績参考)

組合員数	6,814名(団体含)
貯金残高	71,573百万円
貸出金残高	15,472百万円
長期共済保有高	2,058.9億円
購買品供給高	405,711千円
販売品取扱高	49,030千円
職員数(パート除く)	135名

無料税務相談会 要予約



当JA顧問税理士
福田 正寛

■ 開催日時

令和元年7月25日(木)

令和元年8月23日(金)

午前9時～12時(基本30分単位)

■ 開催場所

JA白山 本店

お問い合わせ・お申込先(担当/本店総務課 谷口)

TEL 272-3333 FAX 273-0690

e-mail soumu@hakusan.is-ja.jp

お申込み順に受け付けております。